

## 第82回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）

- 第1 開催日時 令和6年7月26日（金）午後6時30分～午後7時15分
- 第2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 第3 出席委員 出席24人（欠席2人）  
石川英浩（会長）、佐々木善信（副会長）、浅野秀美、伊津野孝雄、  
加藤栄作、川村信市、佐藤翔一、佐野達男、更田俊郎、宍戸良雄、  
田中一枝、角田真宏、原谷幸雄、宮下政美、森田美智子、山内一昌、  
山下幸生、山田知英美  
荻原正樹（副会長）、垣花満、澤田忍、鷹林勝、山賀則夫  
※ 名前の表示は、正副会長を除き、選出区分別五十音順
- 事務局 倉林真理子、杉山卓嗣、竹内弘子
- 第4 会議の公開 公開
- 第5 傍聴人の数 2人
- 1 開会
  - 2 前回会議録の確認等
    - (1) タイムスケジュールの確認
    - (2) 第81回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）について
  - 3 報告事項
    - (1) リサイクルセンター更新について
    - (2) 施設の運転結果について
      - ア ごみ処理実績（令和6年4月～5月）について
      - イ 環境測定結果（令和6年4月～5月）について
    - (3) ふじみ衛生組合における令和5年度温室効果ガス排出状況について
    - (4) 令和6年度地元協議会視察見学会について
  - 4 その他  
次回日程：令和6年11月22日（金）午後7時～
  - 5 閉会

## 配付資料

- 【資料1】 ふじみ衛生組合地元協議会委員名簿（第8期）
- 【資料2】 第82回ふじみ衛生組合地元協議会タイムスケジュール
- 【資料3】 第81回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）
- 【資料4-1】 ごみ処理実績（令和6年4月～5月）
- 【資料4-2】 環境測定結果（令和6年4月～5月）
- 【資料5】 令和5（2023）年度温室効果ガス排出状況について
- 【資料6】 令和6年度地元協議会視察見学会の報告
- 【資料7】 令和6年度ふじみ衛生組合地元協議会及び安全衛生専門委員会スケジュール

## 【当日配付資料】

ふじみ衛生組合リサイクルセンター東棟・北棟改造工事に伴う生活環境影響調査書の  
縦覧結果について

## 1 開会

### 【事務局】

それでは、定刻となりましたので、第82回ふじみ衛生組合地元協議会を始めさせていただきます。

まず、事務局から、資料の確認をさせていただきます。事前送付しました、表紙が「第82回ふじみ衛生組合地元協議会 次第」にホチキス留めでつづられている冊子をご用意願います。こちらですが、1ページ目の次第、5ページ目のタイムスケジュール、31ページ、33ページのごみ処理実績について修正がありましたので、本日、机上配付した右上に赤丸をつけた資料がございます。そちらをご使用いただければと思います。また、このほか、「ふじみ衛生組合リサイクルセンター東棟・北棟改造工事に伴う生活環境影響調査書の縦覧結果について」、「席次表」を当日配付資料として机上に置かせていただいております。

それから、本日も議事録作成のため、会場内の発言を録音させていただきます。発言をされる場合は、事務局職員がマイクをお持ちしますので、マイクを使用し、また、お名前をおっしゃってからご発言いただきますようお願いいたします。

では、ここからは、会長に進行をお願いいたします。

### 【会長】

皆さん、改めましてこんばんは。本日もお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日も限られた時間で会議を進めさせていただきますので、説明、また、質問をされる際には、要点をまとめてご発言いただきますようお願いを申し上げます。

それでは、本日の委員の出席状況を事務局から報告してください。

### 【事務局】

本日の出席者は、22人です。全委員は27人であり、半数以上が出席されています。ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱第7条第2項に基づき、会議は有効に成立していますことを報告します。

## 2 前回会議録の確認等

### 【会 長】

では、本日、机上配付いたしました次第に沿って進めさせていただきます。2の(1)、タイムスケジュールの確認です。本日、机上配付しました資料2「第82回ふじみ衛生組合地元協議会タイムスケジュール」をご覧ください。このタイムスケジュールに基づきまして、目安として、閉会の時間を午後7時15分とさせていただきます。委員の皆様、会議の進行にご協力をお願いいたします。

次に、(2)第81回ふじみ衛生組合地元協議会会議録(要旨)についてです。5月24日(金)開催の会議録について語りたいと思います。該当は、お手元の資料7ページから29ページまでとなります。会議録の内容についてご指摘などある方は挙手をお願いいたします。よろしいですか。

では、特にないようですので、「第81回ふじみ衛生組合地元協議会会議録(要旨)」を承認することといたします。事務局で公開の手続を進めてください。

## 3 報告事項

### (1) リサイクルセンター更新について

それでは、報告事項に移ります。(1)リサイクルセンター更新について、事務局から説明をお願いいたします。

### 【事 務 局】

本日机上に配付いたしました「ふじみ衛生組合リサイクルセンター東棟・北棟改造工事に伴う生活環境影響調査書の縦覧結果について」をご覧ください。前回の第81回地元協議会で、東棟・北棟改造工事に伴う生活環境影響調査書の内容についてご説明させていただきました。また、併せまして、縦覧期間と意見書提出期間などについてもご説明させていただきました。本日はその結果についてご報告いたします。

まず、1の(1)の縦覧期間につきましては30日間、(2)の意見書の提出期間につきましては45日間、(3)の縦覧場所は、ふじみ衛生組合、三鷹市及び調布市のごみ対策課窓口の3か所で縦覧を行いました。その結果、(4)のとおり、意見書の提出はゼロ件でございました。

また、2の市民説明会の実施につきましては、1回目の5月31日（金）につきましましては、参加者が4人、6月1日（土）につきましましては、参加者が3人という結果でございました。

ご報告は以上となります。

**【会 長】**

事務局の説明は終わりました。ご意見やご質問がある方は挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。では、特になければ、次に進みたいと思います。

**(2) 施設の運転結果について**

**ア ごみ処理実績（令和6年4月～5月）について**

それでは、報告事項の（2）施設の運転結果について、事務局から一括した説明をお願いいたします。

**【事 務 局】**

本日机上に配付いたしました資料の31ページにつきまして、こちらの中ほどに市民1人1日当たりのごみ量を記載していますが、右側に、それぞれ令和6年度、令和5年度の4月1日時点の人口の表を追加させていただいています。

資料の33ページにつきまして、搬出量の表の令和6年度の可燃性残渣というところですが、事前に配付いたしました資料は、重量が1,277.38トンとなっておりますが、正しくは1,277.58トンでございます。大変失礼いたしました。お詫びさせていただきます。

それでは、令和6年4月から令和6年5月までの2か月間のごみ処理実績についてご報告いたします。重量につきましては、小数点以下、四捨五入してご報告させていただきますのでご了承をお願いいたします。

まず、本日、机上配付いたしました31ページ、資料4-1をご覧ください。こちらは、クリーンプラザふじみのごみ処理実績速報値でございます。上段グラフの令和6年度の可燃ごみの搬入量の合計は1万3,727トンで、令和5年度の1万2,808トンと比べまして7.2%の増となっております。その内訳といたしましては、三鷹市が5,094トンで5.7%の増、調布市が6,331トンで4.7%の増、リサイクルセンターから出る可燃性残渣が1,278トンで10.7%の増、そのほかといたしまして、広域支援による小平市の可燃ごみが1,025トンで、30.9%の増という内

容です。その下の表になりますが、市民1人1日当たりの可燃ごみは、三鷹市が439グラムで、令和5年度の416グラムと比べて5.6%の増、調布市が434グラムで、令和5年度の415グラムと比べて4.5%の増となっています。

下段のグラフは、焼却処理後の灰と鉄分の搬出量です。焼却灰、飛灰、鉄分の合計は1,436トンで、令和5年度の1,393トンと比べて3.1%の増となりました。

続きまして、資料32ページをお願いいたします。このグラフは、可燃ごみの焼却量及び焼却に伴う発電量と送電量を月別にお示ししたものでございます。令和6年度の焼却量の合計は1万1,767トンで、令和5年度の1万2,838トンと比べまして8.3%の減となりました。搬入量は増加いたしまして、焼却量が減少した理由といたしましては、令和6年度の1号焼却炉は、点検、保守、清掃などを行うことで5月4日に立ち下げを予定しておりましたが、予定を前倒しいたしまして、5月1日に立ち下げをいたしましたので、5月の稼働日数はゼロ日でありまして、令和5年度と比べて焼却炉の稼働日数が少なくなったことが要因でございます。

32ページ下の表に戻っていただきまして、発電量の合計は6,506メガワットアワー（MWh）で4.8%の減、参考までに、9,007世帯分の電気消費量に相当するものでございます。送電量の合計は4,827メガワットアワー（MWh）で、令和5年度の5,002メガワットアワー（MWh）と比べまして3.5%の減となります。その内訳といたしましては、リサイクルセンターが168メガワットアワー（MWh）で4.0%の増、三鷹市防災公園が504メガワットアワー（MWh）で2.0%の増、電力事業者が4,154メガワットアワー（MWh）で4.4%の減となります。

続きまして、リサイクルセンターのごみ処理実績速報値でございます。本日、机上配付いたしました33ページをお願いいたします。上段のグラフをご覧ください。令和6年度の搬入量の合計は2,998トンで、令和5年度の2,883トンと比べまして4.0%の増となります。その内訳といたしましては、三鷹市が1,427トンで0.1%の減、調布市が1,572トンで8.0%の増となります。右の表に移りまして、市民1人1日当たりの搬入量は、三鷹市が123グラムで、令和5年度とほぼ変わりません。調布市が108グラムで、令和5年度の100グラムと比べまして7.9%の増となりました。

また、下段の搬出量ですが、令和6年度の排出量の合計は2,853トンで、令和

5年度と比べまして3.9%の増となっています。その内訳といたしましては、下の表に記載のとおり、アルミ、鉄など有価で売却している金属類の合計が438トンで27.2%の増、無償で引渡しをしております容器包装リサイクル法の対象品目やリチウムイオンバッテリーなどの二次電池の合計が1,117トンで2.8%の減、廃乾電池や小型家電など、適正処理に関わる費用を負担している、いわゆる逆有償の品目の合計が20トンで、大幅な減となりました。なお、小型家電につきましては、令和5年度の4月から9月までの間は、1トン当たり10円を、事業者にお金を支払って搬出処理していたため、令和6年度の有償については増加いたしました。一方で、逆有償については大幅な減少となりました。

続きまして、資料の34ページ、35ページをお願いいたします。こちらは、粗大ごみ、不燃ごみ、プラスチック、ペットボトル、びん・缶の品目別の搬入量実績でございます。34ページの中段の調布市の不燃ごみでございますが、令和5年度と比べまして52トン、8.8%の増となっています。これにつきましては、4月の収集回収日が令和5年度よりも6年度のほうが多かったため、増加したものでございます。三鷹市の不燃ごみにつきましては、収集回収日は変わりませんが、令和5年度と比べまして減少した明確な要因は、分かりませんでした。

その下のプラスチックになりますが、三鷹市、調布市ともに6年度が増加しています。これにつきましても、4月の収集回収日が、令和5年度と比べまして6年度のほうが多かったため、増加したものでございます。

令和6年度の4月、5月分の2か月間のごみ処理実績速報値の報告については、以上となります。

## イ 環境測定結果（令和6年4月～5月）について

### 【事務局】

それでは、続きまして、令和6年4月から5月の環境測定結果についてご説明いたします。お手元の資料の36ページと37ページ、資料番号4-2「令和6年度環境測定結果」をお願いいたします。まず、表の上段、施設の運転状況でございます。4月から5月の運転状況でございますが、1号炉について、5月4日に立ち下げを行う計画でしたが、ごみピット残量調整のため、5月1日に立ち下げを行い、年次点検を行っております。

次に、その下にあります排ガス測定の表をご覧ください。4月に今年度1回目の測定を行い、ばいじんから一酸化炭素まで記載されている各項目について、全て自主規制値以下または基準値以下でございました。

続いて、騒音・振動の測定でございます。4月に測定を行い、騒音・振動について、全て基準値以下でございました。

次に、周辺大気の測定でございます。38ページをご覧ください。クリーンプラザふじみ周辺大気の測定を、三鷹市側では市立南浦小学校、調布市側ではしいの木公園において実施しておりますが、令和6年度につきましては、7月11日から7月17日にかけて実施しております。現在は測定値の結果待ちでございます。

ページを戻っていただいて、36ページ、37ページをお願いいたします。表の下端、放射能に関する測定でございます。4月と5月に測定を実施し、焼却灰、飛灰、排ガス、排水については不検出または基準値以下、空間放射線量率については全て基準値以下でございました。

環境測定結果の報告は以上でございます。

【会 長】

ありがとうございました。事務局の説明は終わりました。ご意見、ご質問がある方は挙手をお願いいたします。よろしいですか。では、特になければ、次に進みたいと思います。

### (3) ふじみ衛生組合における令和5年度温室効果ガス排出状況について

【会 長】

次に、報告事項の(3)ふじみ衛生組合における令和5年度温室効果ガス排出状況についてです。事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

41ページの資料5をお願いします。ふじみ衛生組合では、令和3年3月に「第2次ふじみ衛生組合地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガス排出削減に取り組んでいます。このたび、令和5年度のふじみ衛生組合が排出している温室効果ガス量が確定しましたので報告いたします。

まず、計画の概要をご説明します。1、計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間です。



2、計画の対象範囲は、ふじみ衛生組合における事務及び事業、対象施設は、クリーンプラザふじみ及びリサイクルセンターです。

3、温室効果ガスの削減目標は、2つ定めております。1つは、温室効果ガス総排出量の削減目標です。ふじみ衛生組合の基準年度（2014年度、平成26年度）における温室効果ガス総排出量、3万2,385トンCO<sub>2</sub>を基準年度排出量として、本計画では目標年度（2030年、令和12年度）において8%以上削減することを目標とし、中間年度であります2025年（令和7年度）において、その半分である4%以上削減することを目標として決めました。

2つ目は、エネルギー起源二酸化炭素排出量の削減目標です。先ほどの1つ目の目標のうち、電気、ガス、ガソリン等のエネルギー使用により排出されるCO<sub>2</sub>の削減目標で、ふじみ衛生組合の努力効果が表れやすい目標となっています。本計画では中間年度（2025年度）、目標年度（2030年度）において、本計画策定の際の最新データであった2019年度（令和元年度）の排出量以下、545トンCO<sub>2</sub>以下とすることを目標として決めました。

4、対象とする温室効果ガスは、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンで、発生源や温室効果ガス排出量算定の対象は記載のとおりです。

では、令和5年度の実績について説明しますので、42ページをご覧ください。表の一番上に温室効果ガス総排出量を記載しています。令和5年度は4万3,868トンとなりました。下段のグラフと、右横の令和5年度の所見の①のところをご覧ください。グラフ中の赤い横線は中間年度排出量、緑色の横線は目標年度排出量を表しています。令和5年度は基準年度である平成26年度と比較し、35%の増となりました。廃棄物の焼却から排出される温室効果ガスの量は、年間焼却量に廃プラスチック類の割合等を掛けて算出します。今回、温室効果ガス排出量が増加した理由については、②に記載のとおり、平成26年度は燃焼ごみ中における廃プラスチック類の比率が19%、令和5年度は26%と4割弱増えたため、温室効果ガス排出量も4割弱増となりました。なお、廃プラスチック類の比率は、毎月1回、ごみピットからごみをつかみ出し、ごみを仕分して算出しています。令和5年度の廃プラスチック類の比率が高くなった要因は分かっておりません。

43ページをご覧ください。上のグラフは、先ほど説明したグラフから他の自治体から搬入されるごみを除いて、温室効果ガスを計算したグラフです。他の自治体のごみを除いた場合でも、目標を達成できませんでした。

次に、44ページをご覧ください。こちらは、令和5年8月に策定した「リサイクルセンター整備実施計画」の抜粋です。今年8月から令和10年度までの工事期間中は、プラスチック焼却によりCO<sub>2</sub>、温室効果ガス排出量が増えますが、新しいリサイクルセンターが稼働した際には、現在よりもプラスチックのリサイクルが進み、現在の6割弱、年間7,400トンCO<sub>2</sub>の排出量が減る見込みです。

42ページに戻っていただきまして、上の表の一番下、売電によるCO<sub>2</sub>削減量とあります。温室効果ガス排出量を算定する場合に、国のマニュアルでは売電分を削減数値とすることが認められてはいませんが、参考として削減量を記載しています。

43ページをお願いします。下のグラフをご覧ください。こちらは、2つ目の目標のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出状況を掲載しています。令和5年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量は466トンCO<sub>2</sub>、基準年度（平成26年度）の1,040トンCO<sub>2</sub>と比べて55%減となりました。削減要因は、右の枠囲みの②から④に記載のとおりですが、特に炉の点検、メンテナンスが多くなると、炉の立ち上げに灯油を多く使うので、この回数が少なければエネルギー削減につながります。令和4年度は目標数値ぎりぎりの545トンCO<sub>2</sub>だったことから、令和5年度は、運転事業者が炉の立ち上げの際に、機械での自動制御ではなく、手動による早めの灯油投入量抑制を図り、温室効果ガスを削減できました。

このほか、令和5年度は、今年2月までにクリーンプラザふじみの蛍光灯や水銀灯をLEDに変えました。このことから、クリーンプラザふじみの電気使用量が、3月から1割ほど減少効果が確認できました。ふじみ衛生組合では、今後も引き続き運営事業者等とも連携し、省エネルギーの推進や新たなリサイクルセンター整備によるプラスチックリサイクル率の向上に努め、温室効果ガス削減の取組を推進していきます。

説明は以上です。

【会長】

ありがとうございます。事務局の説明は終わりました。ご意見、ご質問のある

方は挙手をお願いいたします。

A委員、どうぞ。

**【A 委 員】**

先ほど焼却ごみのプラスチック比率が、平成26年より令和5年のほうが多くなったということでしたが、焼却ごみにプラスチックを入れるようになったからということはないですか。

**【事 務 局】**

三鷹市も調布市も、この間の収集方法、分別方法は、変わっておりませんので、プラスチックが急激に増えた理由については、私どもとしてもなかなか解明できないところでございます。なお、分析に当たりましては、クレーンでごみをつかみまして、それを均等にかき混ぜ、それをまた4分の1ずつ、区切っていくまして作業するというようなやり方で、分析の仕方も変わっておりません。したがって、なぜ、この年度が増えたのか分からないところでございます。

なお、今後の見通しでございますが、先ほどありましたとおり、リサイクルセンターの建て替えに伴いまして、令和6年の8月からプラスチックについては焼却処理をするという予定でございますので、今年の8月以降は、燃やせるごみの中にプラスチックが年間4,500トンほど増えるという見込みでございますが、令和5年度と4年度を比べたときには、特に事務局として思い当たる節はございません。

**【会 長】**

A委員、いかがですか。

**【A 委 員】**

素人考えで申し訳ないのですが、廃プラスチックは、化石燃料ですので、燃やしたときに、焼却に使用する燃料が減少することにはならないのでしょうか。

**【事 務 局】**

もし、生ごみ中心のカロリーの低いごみになりますと、確かにそれだけでは燃えませんが、灯油や重油などを混ぜて燃やすというようなことにはなりますが、ふじみ衛生組合に入ってくる調布市、三鷹市のごみですが、生ごみがあまりありません。紙やプラスチック、木くず、そういったものが中心になっていますので、三鷹市、調布市のごみであれば、あえてプラスチックを投入しなくても、ごみの

持っている熱エネルギーで自燃するごみ質になっております。ただ、農業が中心となるようなところは生ごみが中心となりますので、そういったところについては、化石燃料を加えないと燃えないというようなこともございます。

【会 長】

よろしいですか。ありがとうございます。

B委員、どうぞ。

【B 委 員】

2点お伺いをさせていただきます。

1点目は、「第2次ふじみ衛生組合地球温暖化対策実行計画」が策定されて、向こう10年間の温室効果ガス削減目標に「8%以上削減する」と書いてありますが、資源エネルギー庁が指定する目標は、「2050年までに80%削減しましょう」と理解しています。それにおいて、この8%というのが今、現在地として進捗どおりなのかという点です。

2点目は、この8%の達成計画はどこを見れば分かりますか。

【事 務 局】

まず、進捗状況でございますが、42ページの下のグラフを見ていただきまして、中間目標年度を赤線で示しております。令和12年度あるいは7年度に赤の線まで下がっていただければ、進捗状況としては目標を達成したことになりますし、2030年度は緑の線ですが、2030年度までに緑の線まで下がれば、それも達成したということになります。

非常に難しいのは、政府は、「2050年度までに温室効果ガスを実質ゼロにしましょう」と言っていますけれど、その目標とふじみ衛生組合の違いは、先ほど事務局のほうからの説明がございましたとおり、ふじみ衛生組合の事業に伴って排出しているCO<sub>2</sub>の99%近くは、ごみを燃やすために出ているというところが一番大きな違いでございます。もし、政府の目標のように、例えば80%削減するとなりますと、ごみを80%減らさなければならないということになりますので、ふじみ衛生組合の努力よりも、むしろ、市民の皆様一人一人が今よりもごみを80%減らせるかどうかにかかっていると考えているところでございます。

【会 長】

よろしいですか。

【B 委 員】

ありがとうございます。

【会 長】

B委員、ありがとうございました。

ほかにございますか。なければ、次に進みたいと思います。

(4) 令和6年度地元協議会視察見学会

【会 長】

次に、報告事項の(4) 令和6年度地元協議会視察見学会についてに移ります。  
事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

それでは、お手元の資料45ページ、資料の6「令和6年度地元協議会視察見学会の報告」をお願いします。令和6年6月21日に視察見学会を実施いたしました。見学先は町田市バイオエネルギーセンターで、参加者は、地元協議会委員が15人、住民委員の知人が4人、組織市の職員が2人、組合職員3人、合計24人です。見学先の概要は、お手元の資料に記載のとおりでございます。この施設の特徴は、東日本で初めてごみからバイオガスを抽出するバイオガス化設備を導入したごみ処理施設であるという点でございます。

続きまして、46ページをお願いいたします。見学時に撮影した各コーナーの写真でございます。実際の設備や処理工程を見学できるほか、タッチパネルによる分別クイズやエアカーテンの効果体験、焼却炉内部の映像体験など、ごみ処理やリサイクルについて楽しみながら考え、学べる見学コースとなっております。また、粗大ごみを修理、再生して、展示販売を行うリユースショップがありました。47ページ以降には、見学時及び事前に行った質問の回答を記載しておりますので、後ほどご覧ください。

この施設の特徴であるバイオガス化施設は、火災による機器の損傷により、見学時にはバイオガス発酵やバイオガス発電設備は稼働していない状況でした。また、不燃ごみの処理エリアでは、リチウムイオン電池が原因と見られる火災が発生しており、壁面にすすが付着している箇所が幾つか見受けられました。今回の視察では、安全で安定的な施設の稼働には分別の徹底が重要であること、また、

周知や啓発について、市民の皆様や事業者等の協力が欠かせないことを改めて認識いたしました。環境学習につきましては、見学ルートが可燃ごみ、不燃・粗大ごみ、バイオガス化施設と色分けがされており、エリアごとに分かりやすく説明する工夫が施されておりました。組合と地元協議会にとって今後の施策の参考となる、大変有意義な視察見学会だったと思います。

視察見学会の報告は以上でございます。

【会 長】

ありがとうございました。事務局の説明は終わりました。私も、C副会長も一緒に視察をしてまいりました。C副会長から一言、お願いします。

【C副会長】

私、この施設ができてすぐに、別の見学会で行きまして、今回が2回目でした。そこで、大変ショックを受けたのは、一番のうたい文句であるバイオガス化施設が、火災が原因で、動いていなかったことです。隅々まで選別をやり切れず、何回も火災が起きてしまった。東日本で一番という触れ込みの施設だったのに、普通のごみ焼却施設と変わらない状態になっている上に、その改修計画もままならない。お金をたくさんかけたのに、その先の見通しができていないということ聞きまして、今度、私たちのリサイクルセンターを造るわけですけど、一つ経験則にして、我々の施設では、運営する側と、地域の住民と本当の意味で注意啓発をしっかりとやらないと、二の舞になってしまうということを感じた次第です。

【会 長】

貴重なご感想をありがとうございます。

ほかに、この件についてご意見、ご質問ございますか。よろしいでしょうか。

では、特になければ、次に進みたいと思います。

#### 4 その他

##### 次回日程について

【会 長】

次に、その他、次回日程について事務局から説明をお願いいたします。

## 【事務局】

お手元の資料の51ページをお願いいたします。当初のスケジュールでは、今回、7月26日の会議において、リサイクルセンター中央棟解体工事等について報告させていただく予定でしたが、工事契約は8月下旬を予定しており、工事スケジュール等、詳細はそれ以降となるため、次回、第83回地元協議会にて報告させていただきます。

また、(仮称)新リサイクルセンターに関する生活環境影響調査についても、今回報告させていただく予定でしたが、この生活環境影響調査書の縦覧は10月下旬を予定しているため、正副会長にご相談させていただき、生活環境影響調査に係る資料及び市民説明会のご案内を縦覧前に委員の皆様へ送付し、11月開催の第83回地元協議会において、改めてこの調査結果について報告させていただくこととしました。

最後に確認となりますが、次回、第83回地元協議会は、11月22日(金)午後7時から開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

## 【会長】

ありがとうございます。この件につきまして、何かご質問等ございますか。よろしいですか。

また、全体を通して、何かご質問ございますか。よろしいですか。

## 5 閉会

### 【会長】

それでは、以上をもちまして、第82回ふじみ衛生組合地元協議会を閉会とさせていただきます。皆様、大変お疲れさまでした。

— 了 —